

NEW情報 / 2024年2月

NHK

体感！グレートネイチャースペシャル 風のいたずら アフリカ 水の絶景～アフリカ南部～

2月26日（月）午後7:30～

アフリカ南部・乾燥の大地には、期間限定で水の絶景が出現する！南アフリカー断崖を流れ落ちる巨大雲・テーブルクロス。ナミビアー砂漠の一角に突如現れる、一瞬の大花畑…！モザンビークー純白の砂と海の藍が織りなす天然のアート…。そして、ボツワナー雨の降らない乾季に砂漠が輝く湿地帯に大変貌…！イリュージョンを見ているかのような絶景誕生には、地球のいたずらともいえる壮大な風の営みがあった！



“百万本のバラ”はどこから そして どこへ 加藤登紀子 ジョージアへの旅

2月17日 (土) 午後6:00~7:30

※NHK BS 2月23日 (金)
午前8:00~9:30放送

百万本のバラ物語 TOKIKO KATO 歌は国を超えて心をつなぐ

2月17日 (土) 午後7:30~9:00

※NHK BS 2月24日 (土)
午後11:20~午前0:50放送

ウクライナ侵攻をきっかけに、歌手・加藤登紀子さんは、代表曲「百万本のバラ」の原点を訪ねる旅に出た。バルト3国のラトビアで悲しい子守歌として生まれ、その後、ロシア語の新たな歌詞が付けられ、ラブソングとして大ヒット。加藤さんは自ら日本語に訳し、40年近く歌い続けてきた。国境を超えて人の心をつなぐ歌と思ってきたが、いま、「“百万本のバラ”はロシアの歌だから歌えない」という声が高まっている。「私はこの歌の何を知っていたのだろう」。加藤さんは、モチーフとなったジョージアの放浪画家、作詞した旧ソ連の反体制詩人の足跡などを辿りながら、歌と自らを見つめ直す。ジョージアへの旅のドキュメント、そして、ウクライナへの思いを歌う東京のコンサートの模様をたっぷりとお届けする。



神木の森へ 台湾 阿里山森林鉄道

- | | |
|-------------------|------------------|
| 2月11日 (日) 午後8:00~ | 12日 (月) 午後1:59~ |
| 14日 (水) 午後6:00~ | 16日 (金) 午前11:00~ |
| 18日 (日) 午前10:00~ | 20日 (火) 午後6:00~ |
| 22日 (木) 午後0:00~ | 24日 (土) 午後8:00~ |

台湾の阿里山森林鉄道は、世界的にも有名な登山鉄道。全長78km、標高差2400m以上の急峻な山を上るため、スパイラルループや180度大カーブ、スイッチバックなど、様々な技術が注ぎ込まれている。100年以上前にこの鉄道を建設したのは日本人。名物、奮起湖の弁当にも日本人伝承の味が引き継がれている。

さらに、開業当時に活躍したシェイ式蒸気機関車が復活。走る勇姿はここでしか見られないため、世界中から鉄道ファンが集まってくる。鉄道と地元の物語。熱帯、亜熱帯、温帯と移り変わる植物。樹齢千年を超える神木の森。台湾最高峰から昇る日の出。他の鉄道にはない魅力を思う存分味わえます！



NHK BS放送ホームページ <https://www.nhk.or.jp/bs/>



NHKのBS再編と103chの臨時対応

2023年12月1日からBS1とBSプレミアムを1つに統合し、新しく「NHK BS」となりました。BS103チャンネル（旧BSプレミアム）は「番組の移設や停波時期を説明・周知するチャンネル」として活用*し、2024年3月末で終了する予定です。

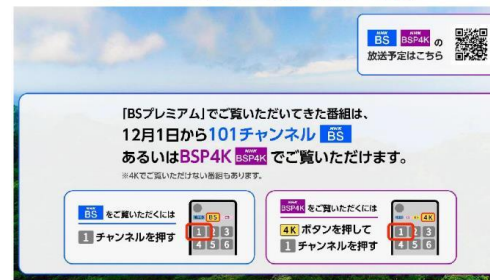
メディア	チャンネル番号	リモコン番号	11月30日まで	12月1日以降	2024年4月以降
BS	101	BS + 1	NHK BS1	NHK BS 停波・再編の画面上周知	NHK BS
	103	BS + 3	NHK BSP		
4K	101	4K + 1	NHK BS4K	NHK BSP4K	

**BS103ch
3月末終了予定**

【イメージ】ハイビジョン画質に変換して放送する画面に番組案内を行う画面



【イメージ】風景映像に再編を告知する画面



*能登半島地震の被災地域でインフラの寸断などから地上波の放送が見られない状況が発生したことを受けて、BS103チャンネル（旧BSプレミアム）では、金沢放送局の地域向けニュースや全国ニュースなどを含めた総合テレビのほますべての番組を放送しています。

(2月1日現在)

NHK技研 全国各地で研究成果を展示

NHK

(無断複製・転載禁止)

NHK放送技術研究所では、研究開発の取り組みを幅広く紹介するために、NHKの地域放送局が主催・協力するイベントなどで、研究成果を展示しています。

NHK函館放送局の会館公開や福岡市でのイベント「The Creators」の会場、NHKのど自慢の収録会場などでは、実在する古民家や番組「チョコちゃんに叱られる！」のスタジオをフォトグラメトリー技術を用いてバーチャル空間に再現した「メタバース体験」を展示しました。

「瀬戸市デジタルまつり2023」や「NHK徳島 阿波っ子フェス」では、人の視野角に近い約200度の広視野に高精細な映像を表示する「湾曲ディスプレイシステムでの広視野高精細映像」などを展示しました。

「NHK徳島 阿波っ子フェス」では、8K番組（8Kタイムラプス紀行 ～徳島～「うず潮鳴門海峡」、「徳島の阿波おどり」）の映像を湾曲ディスプレイシステム向けに再編集して展示しました。



The Creatorsで展示した
「メタバース体験（バーチャル里山）」



瀬戸市デジタルまつり2023で展示した
「メタバース体験
（チョコちゃんに叱られる!スタジオ）」



NHK徳島 阿波っ子フェスで展示した
「湾曲ディスプレイシステムでの
広視野高精細映像」

NHK技研だより 2024年1月号 No.226

https://www.nhk.or.jp/str1/publica/giken_dayori/226/pdf/dayori226.pdf



NHK放送技術研究所では、高品質な広視野映像の取得のため、撮影シーンを瞬時に解析する“シーン情報解析技術”と、イメージセンサーのエリアごとに撮像条件を制御する“エリア制御イメージセンサー”を用いたシーン適応型イメージング技術の開発を進めています。

シーン適応型イメージング技術では、細かいパターンを持つ被写体は基本モードで撮影し、動きの速い被写体は解像度を1/2倍に低下させる代わりにフレームレートを4倍にして撮影します。また、明るい被写体は電子シャッターをONとし、暗い被写体はフレームレートを1/2倍にして撮影することで、最適な露光時間に調整します。

これにより、画素信号読み出し回路の動作速度の制約の範囲で、シーンに応じてイメージセンサーの撮像性能を割り当てることができ、主観的な画質の向上が期待できます。

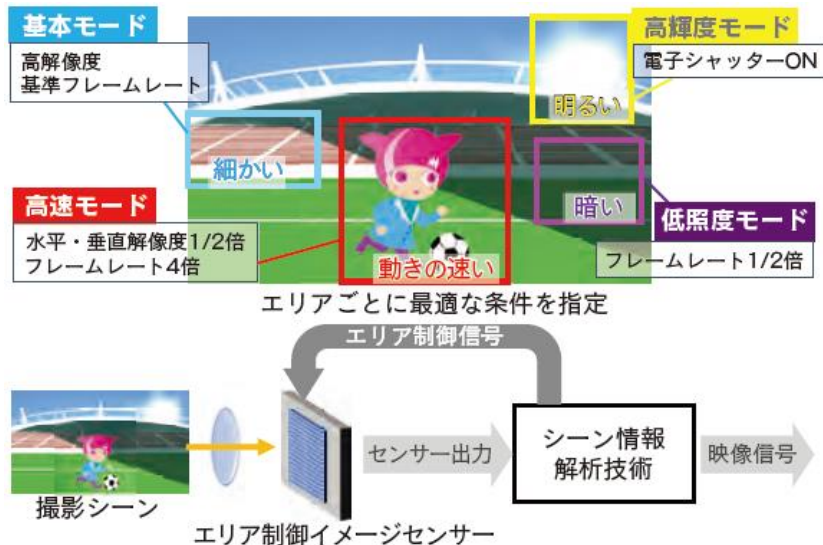


図1 シーン適応型イメージング技術の仕組み

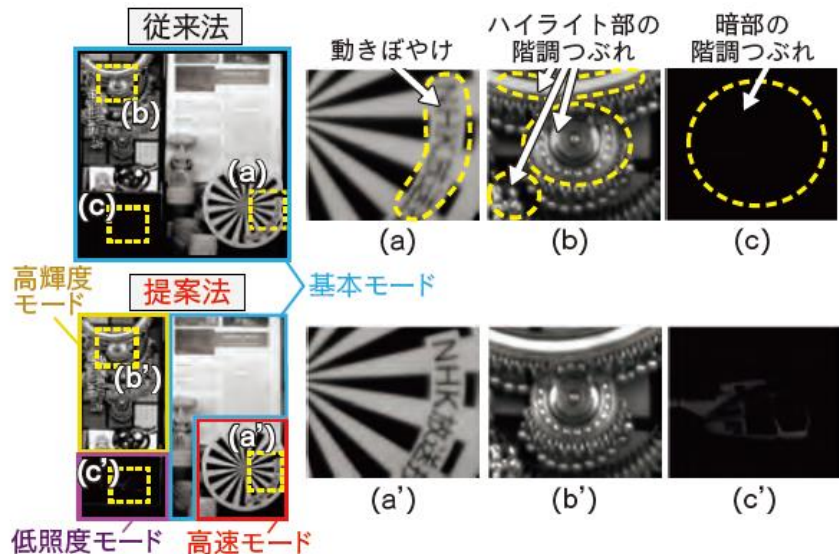


図2 提案法と従来法の取得映像の比較



NHKは2024年度の国内放送番組編集の基本計画を発表しました。2024年度の重点事項を紹介합니다。**詳細はNHKのホームページをご覧ください。**

重点事項

1. 放送とデジタルが連携して 災害・減災報道を進化

- ・必要な情報を最適なタイミングと媒体で届けて 災害から命と暮らしを守る
- ・デジタルコンテンツの進化で行動変容につながる減災情報を提供

2. 拡大する情報空間で 信頼のジャーナリズムを構築

- ・情報空間が拡大する中で放送の真実性と信頼性を確保
- ・デジタルを活用した新たな調査報道を強化

3. 民主主義の一翼を担い 平和で持続可能な世界の構築に貢献

- ・民主主義の発達と持続可能な社会の実現に貢献
- ・人口減少社会、物価高など 日本の課題の処方箋を提示

4. 社会の変化に応じて 学びのコンテンツを深化

- ・世界に通用する幼児・子どもコンテンツの開発に着手
- ・時代に即した学校教育コンテンツへと刷新
- ・大人の学びを支援する社会教育コンテンツを充実

5. 放送100年 未来を見つめ人生を豊かにするコンテンツを開発

- ・放送100年を契機に NHKの強みを発揮するコンテンツを開発
- ・映像・音声資産を活用して 新たな価値を提供

6. 幅広いジャンルで 多様性を確保

- ・多様な価値を認め合う共生社会の実現を後押し
- ・全国ネットワークを生かして コンテンツを発信

NHK ホームページ <https://www.nhk.or.jp/info/pr/kihon/assets/pdf/2024/kokunai.pdf>



NHKは2024年度の事業計画を発表しました。BS4K8Kの編成方針を紹介します。

NHK **BSP4K** 放送は1日24時間を基本

本物感・臨場感あふれる映像文化の殿堂として、自然、紀行、歴史、芸術、ドラマ、生中継など、超高精細映像の特徴を生かした見ごたえのあるコンテンツを多彩に取りそろえます。また、NHKが保有する貴重な映像資産を4Kリマスター技術でよみがえらせて、新たな価値を付加したアーカイブス番組として編成します。

- ・ 平日夜間にBSP4Kの個性を発揮する主力番組を編成
- ・ 4Kリマスター技術でよみがえる名作や大型特集番組を週末に編成
- ・ 平日夜間は超高精細映像で多彩な番組をゆったりと楽しむゾーンに

NHK **BS8K** 放送は1日12時間10分を基本

世界最先端の映像メディアチャンネルとして、貴重な文化財や優れた芸術、ダイナミックな自然など、視聴者にとって新しい映像体験となるような多彩なジャンルの特集番組を編成します。また、最高水準の8K映像での記録を放送以外の手段でも提供して、社会貢献の役割を果たします。

- ・ 圧倒的インパクトで8Kらしさを生かしたコンテンツを土曜・日曜に集中編成
- ・ 将来世代まで残る世界水準のコンテンツを追求
- ・ 8Kの魅力を凝縮したテーマ別編成を継続

NHK ホームページ <https://www.nhk.or.jp/info/pr/yosan/assets/pdf/2024/siryou.pdf>



NHKは2024年度のインターネット活用業務実施計画を発表しました。

NHKプラス	<ul style="list-style-type: none">➤ 原則すべての放送時間で同時配信を提供 総合テレビ1日24時間・Eテレ19時間程度 ※2022年度から➤ 地方向け番組の提供 18時台ニュース番組はすべて提供 ※2023年6月から また、配信拡充に向けて設備整備を継続
周知広報	<ul style="list-style-type: none">➤ 衛星放送のおすすめの番組を提供 衛星放送で放送した一部の番組を提供し、 4Kの超高精細の映像を含め、 衛星放送の魅力を伝える
パリオリンピック ・パラリンピック	<ul style="list-style-type: none">➤ 特設サイトで競技映像等を提供 各競技・種目の動画や競技予定・結果、 すべての番組の放送予定などを提供 ※NHKプラスでは地上波のすべての競技中継と 関連番組を配信



世界最大のテクノロジー見本市「CES」が、AI・サステナビリティ・モビリティをキーワードに、1月9日から12日まで米ラスベガスで開催され、先端技術が多数披露されました。テレビや映像関連の各社トピックスは以下のとおり。次ページもご参照ください。

<C SEED> 折り畳み式137型4KマイクロLEDディスプレイ

<Hisense> 輝度10,000nitでバックライト4万分割以上のミニLED110型液晶テレビ

<LG> 世界初ワイヤレス透明77型4K有機ELテレビ

<LG Display> 最大輝度3,000nitのマイクロレンズアレイ有機ELパネル

<Panasonic> Fire TV内蔵の有機ELテレビ

<Samsung> マイクロLED透明ディスプレイ
世界初のワイヤレス8K超単焦点プロジェクター

<Samsung Display> ピーク輝度3,000nitの量子ドット有機ELパネル

<Sony> 高精細ヘッドマウントディスプレイを用いた没入型空間コンテンツ制作システム

<TCL> ピーク輝度5,000nit、2万分割以上、量子ドット採用のミニLED115型液晶テレビ

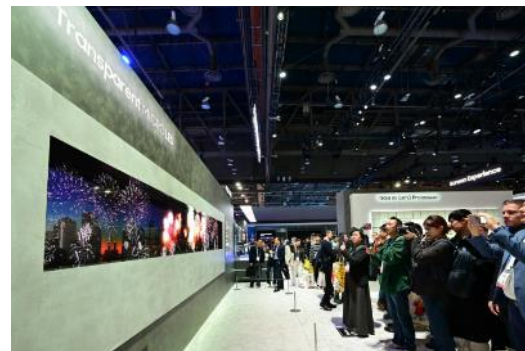
<TVS REGZA> AIシーン判別&AI光景再現テクノロジー



CES 2024 テレビ関連トピックス



① LG ワイヤレス透明有機ELテレビ



② Samsung マイクロLED透明ディスプレイ



③ C SEED 折り畳み式マイクロLEDディスプレイ



④ Sony 没入型空間コンテンツ制作システム



①



②



③



④

テレビ受信向上委員会では、「テレビ受信環境の現状と多様化するメディア」と題して、「受信機の現状と設置時の注意点」と「テレビ放送の望ましい受信システム」についてお伝えする放送新技術セミナーを、全国各地で1月下旬から順次開催しています。放送新技術セミナーの情報は、下記のホームページでご確認いただけます。

地区	場所	会場	開催日
北海道	室蘭市	NHK室蘭放送局 住所：北海道室蘭市山手町1-3-50	2月22日(木)
東北	石巻市	マルホンまきあーとテラス（石巻市複合文化施設） 住所：宮城県石巻市開成1-8	2月14日(水)
関東・甲信越	千葉市	千葉市生涯学習センター 住所：千葉県千葉市中央区弁天3-7-7	2月08日(木)
東海・北陸	金沢市	石川県地場産業振興センター 【中止】 住所：石川県金沢市鞍月2-20	2月29日(木)
近畿	大阪市	大阪歴史博物館 住所：大阪府大阪市中央区大手前4-1-32	2月07日(水)
中国	米子市	米子コンベンションセンター BIGSHIP 住所：鳥取県米子市末広町294	2月20日(火)
四国	徳島市	徳島県立工業技術センター 住所：徳島県徳島市雑賀町西開11-2	2月21日(水)
九州・沖縄	熊本市	熊本市流通情報会館 住所：熊本県熊本市南区流通団地 1 -24	1月25日(木)



4K8K衛星放送※ 視聴可能機器台数

約1,849万台！2023年12月末までの累計

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会（A-PAB）から、4K8K衛星放送の視聴可能機器台数の発表がありました。

視聴可能機器台数の2023年12月集計分は52.0万台でした。これで2023年12月末までの累計は1,849.1万台になりました。

※2023年12月で放送開始5周年を迎えたことから、A-PABでは「新4K8K衛星放送」から「新」を取った呼び方に変更しました。

【4K8K衛星放送 視聴可能機器台数】

品目	2023年12月集計分 (万台)	2023年12月末 累計台数 (万台)
① 4K8Kチューナー内蔵テレビ	31.4	1,348.8
② 外付け4K8Kチューナー	-	25.9
③ 4K8Kチューナー内蔵録画機	6.4	186.4
④ 4K8Kチューナー内蔵STB	14.2*	288.0
合計	52.0	1,849.1

*4K8Kチューナー内蔵STBの数値は、10、11、12月の3か月分の合計となります。

※①②③：JEITA発表出荷台数、④：JCTAヒアリングによる設置台数

(JEITA：一般社団法人 電子情報技術産業協会 JCTA：一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟)

千台未満を四捨五入し表記しているため累計や合計が表記数字の計と一致しないことがあります。

